

# 「施政方針」と「予算」の概要

— 平成21年度は合併を見据えた緊縮型抑制予算 —



## 自然と共に生き、歴史に学び、人にやさしいまちづくりを目指して

3月定例市議会において市長が表明した、平成21年度の市政運営の基本となる考え方「施政方針」と予算の概要について紹介します。

### 予算編成の基本的考え方

最も財政の混迷した平成17年度以降、財政健全化を最重要課題と位置付けた下田市集中改革プランの策定により、人件費の抑制、市債残高の改善、事務事業の見直し、施設の統廃合及び下水道事業の経営改善を着実に進めてきました。しかし、景気悪化の影響により歳入確保が厳しい中、財政調整基金等基金に余裕がない等、依然として厳しい状況から脱しきれていないため、従来どおりのキャップ（重点増減）方式を取り、市内経済の活性化や市民生活の向上の観点から、必要性・効果の高い事業への一層の重点化を図り、次の4つの基本理念と6つの重点施策を掲げ予算編成を行いました。

- 「基本理念」は、
- ① 財政健全化の推進
  - ② 信頼される市政の実現と市民参加型の行政の確立
  - ③ 自然や歴史、文化を活用した観光産業の醸成と、「元気ある街」づくりの実現
  - ④ 健全な心をのばす教育環境の整備と福祉施策の充実
- 「重点施策」は、
- ① 効率的行財政運営（下田市集中改革プラン）の推進
  - ② 観光施設及び観光資源の有効利用の推進
  - ③ 地域産業経済活性化への支援
  - ④ 少子・高齢社会に対応した福祉及び文化的サービスの充実
  - ⑤ 市民生活に直結した環境整備及び防災対策事業の推進
  - ⑥ 第8次教育施設整備5ヶ年計画の推進

### 公立病院建設

下田市を含む賀茂地区1市5町で構成する共立湊病院組合は、平成20年9月、「共立湊病院改革推進委員会」を新たに設置し、新病院建設に関すること、救急医療に関すること等を諮問しました。平成20年11月、同委員会より、「新病院の位置は、下田南高校跡地を第一候補とする」及び「救急体制については、24時間対応ができる病院づくり」等の答申を受け、病院組合では、この答申を尊重し運営していく事が確認されています。下田市としましては、病院組合の一員として早期建設を推進してまいります。

### 市町村合併

平成20年度には、「南伊豆地区1市3町合併協議会」を設置し、合併に必要な協定項目の協議を進めてきました。平成21年度においても、引き続き合併協議会事務局に職員3名を派遣し、合併に必要な協議を継続するとともに、合併協定書の締結及び市町議会における廃置分合議案の議決に向けての協議を進めてまいります。

### 主要施策とその取組

平成21年度の主要施策について、重点施策に掲げる6つの柱に沿ってご紹介します。（…新規事業）

#### 1 効率的行財政運営（下田市集中改革プラン）の推進

戸籍の電算化により、窓口サービスの向上、事務処理の迅速化及び正確性の確保に努めます。

戸籍電算化事業

8302万2千円

繰上償還と借換えを進め、金利軽減による将来の公債費削減を図っていきます。

#### 2

観光施設及び観光資源の有効活用

基本テーマとして「海洋浴の郷・下田」を定着させるため、下田の持つ「自然」「温泉」「歴史」の魅力を最大限発揮できるよう努めます。

観光振興総務事務（下田市観光協会補助金等）

1768万3千円

観光振興対策事業（電波宣伝

委託 地図・パンフレット作成委託）

256万4千円

第70回を迎える黒船祭は幕末タイムスリップをテーマに、市民参加で盛り上げていきます。夏期海岸対策協議会と連携し、海水浴場の健全な管理と誘客に努めます。

観光総務事務（黒船祭執行会補助金、夏期海岸対策協議会補助金等）

2825万1千円

官民協働体制での旧澤村邸の有効活用ができるよう、観光案内所、休憩所及び美術作品の展示ギャラリーとして整備するため、調査や設計を進めます。

旧澤村邸管理事業

388万3千円



まち歩きやガイド活動の拠点として仮開放を予定している旧澤村邸

景観光施設整備事業を活用し、下田公園の道標、園路、

植栽工を実施し、魅力あるあじさい園の整備に努めます。

下田公園あじさい園整備事業

1000万円

爪木崎水仙園の看板・柵の整備や水仙の補植手入れを重点に推進していきます。

爪木崎水仙園整備事業

300万円

花協議会や花の会の活動団体と協働して、市民及び来遊客に安らぎを提供する花のまちづくりを推進します。

花のまち下田推進事業花協議会苗配布等）

116万5千円

#### 3 地域産業経済活性化への支援

国の推進施策である「ふるさと雇用再生特別基金事業」、「緊急雇用創出事業」により、新規雇用による失業者対策の実施と生活の安心・安全確保の対策並びに市内経済の活性化に努めます。

ふるさと・緊急雇用創出対策事業

1215万円

商工業における経営安定のための資金繰り等の支援を実施してまいります。

中小企業金融対策事業（信用保証協会損失補償負担金等）

318万2千円

稲梓地区の集落での共同作業を促し耕作放棄地解消に取り組んでいきます。

中山間地域直接支払事業（中山間地域等直接支払交付金等）

611万円

#### 4 少子・高齢社会に対応した福祉及び文化的サービスの充実

妊婦健診で出産までに必要な14回分を公費負担で賄い、積極的な妊婦健康診査の受診を推進します。

母子保健相談指導事業（妊婦健診委託5回、14回、幼児健康診査等）

2005万6千円

平成21年度中に子育て支援センターの新設を進め、平成22年度より子育て中の親子が集い交流できる機会を更に充実させていきます。

地域子育て支援センター建設事業設計委託）

170万円



現在、第3保育所・中公民館で実施している子育て支援センター事業

昼間労働等により保護者がいない家庭の小学3年生までの児童を対象とする「放課後児童クラブ」を下田小学校と稲生沢小学校で実施します。

放課後児童対策事業

830万6千円

「いのちはいのちに繋がっている」という趣旨を踏まえ、「次世代育成支援（後期）行動計画」の策定を進めます。

次世代育成支援対策推進事業

250万円

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように福祉サービスの充実に努めます。

指定介護予防支援事業（介護予防サービス計画原案作成委託等）

714万6千円

10月24日から静岡県内で開催される国民文化祭の下田市主催事業として、市民アート作品の展示会、「歴史めぐりウォーキング大会」、大久保婦女子作品展」等を実施します。

芸術文化振興事業（国民文化祭補助、市民文芸、芸術祭等）

429万8千円



下田市国民文化祭ポスター原案